



本事業は、SDGsの「6 安全な水とトイレを世界中に」「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に資する取組です。

2023年5月29日（月）  
愛知県企業庁水道部水道計画課  
連携推進グループ  
担当 西郷、水野、牧野  
内線 5692、5576  
ダイヤルイン 052-954-7483

## 「豊橋浄水場」の再整備事業に着手します

愛知県豊橋浄水場（豊橋市。以下、「豊橋浄水場」という。）は、昭和42（1967）年に供用開始した浄水場です。

築造後50年以上が経過し、主要構造物の老朽化が進み、耐震化も必要なことから、施設の全面的な再整備に着手する必要があります。

この度、豊橋浄水場再整備事業に当たってのコンセプトなど、現時点で愛知県が考える計画概要をとりまとめましたので、お知らせします。

今後、民間事業者の持つノウハウや創意工夫を活用したPFI（※）による事業の実施を想定しており、具体的な手続きや実施方針などの検討を進めてまいります。

（※）「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成十一年法律第百十七号）」に基づく事業手法



豊橋浄水場（東側（点線部分）に豊橋市小鷹野浄水場が隣接）

（添付資料） 豊橋浄水場再整備事業について

# 豊橋浄水場再整備事業について

## 本事業のコンセプト

本事業において民間事業者に期待すること

- 本事業では、給水を継続しながら狭小な敷地内で切替工事を繰り返す必要があります。そのため、**安全な工事実施と安定的な水道供給を両立できる高度な施工能力・現場管理能力**が求められます。
- エネルギー消費の大きい浄水場施設では、カーボンニュートラルの視点からの配慮が求められます。新たな施設においては、更なる省エネルギー化を実現するとともに、太陽光発電等の創エネルギーにも取り組むことで、**カーボンニュートラルの実現**に寄与します。
- 本浄水場は豊橋市小鷹野浄水場と隣接しており、管理棟などの共同整備により**連携を推進**します。

<次世代型 新浄水場>

- 1 施設の老朽化・耐震性の不足への対応、新たな施設への改築
  - ・ 浄水処理方式：「急速ろ過方式」または「膜ろ過方式」
  - ・ 施設能力：88,000 m<sup>3</sup>/日として再整備
  - ・ 想定事業費：全面更新に要する費用 約 300～320 億円
- 2 浄水場施設におけるカーボンニュートラルの実現
  - ・ 位置エネルギーの有効活用：高い取水地点からの位置エネルギーの有効活用
  - ・ 再エネ発電施設の設置：太陽光発電、小水力発電の設置
- 3 隣接する豊橋市(小鷹野浄水場)との連携の推進
  - ・ 管理棟などの共同整備により連携を推進する

## 想定スケジュール

